

Subject: 日本保健物理学会 新Newsletter 2016年10月4日号
From: 一般社団法人日本保健物理学会 <exec.off@jhps.or.jp>
Date: 2016/10/04 13:33
To: <exec.off@jhps.or.jp>

日本保健物理学会 新Newsletter 2016年10月4日号

1. 学会関連情報

○ホームページ更新 新着情報なし

2. 関連する研究動向

○Scientific Reports (21 September 2016) 公衆の宇宙線被ばく線量を世界で初めて国や地域ごとに評価
世界平均を0.32 mSv/年と評価。これまでのUNSCEARによる評価値(0.38 mSv)より約16%低い。
Evaluation of World Population-Weighted Effective Dose due to Cosmic Ray Exposure
Sato T

<http://www.nature.com/articles/srep33932>

○Scientific Reports (22 August 2016) 福島第一原子力発電所事故により大気中への放出が主となった炉をCs-134/Cs-137比を利用して
解析

Utilization of 134Cs/137Cs in the environment to identify the reactor units that caused atmospheric releases during the
Fukushima Daiichi accident

Chino M et al

<http://www.nature.com/articles/srep31376>

○JAEA-Technology 2016-018, 2016/09

フレキシブルコンテナに収納した汚染土壌等の単位濃度あたりの1cm線量当量率の算出
菅谷 敏克ほか

<http://jolissrch-inter.tokai-sc.jaea.go.jp/search/servlet/search?5056476>

○JAEA-Research 2016-011, 2016/09

プラスチックシンチレーションファイバ測定技術の福島第一原子力発電所における汚染水管理への応用
眞田 幸尚ほか

<http://jolissrch-inter.tokai-sc.jaea.go.jp/search/servlet/search?5056334>

3. ニュースや社会の動き

○IAEA 2030年までの間、世界の原子力発電量は増加するとの見通しを示す。

IAEA Sees Global Nuclear Power Capacity Growing Through 2030

<https://www.iaea.org/newscenter/pressreleases/iaea-sees-global-nuclear-power-capacity-growing-through-2030>

○東芝と量研機構 金属のマーカーを体内に埋め込まず腫瘍を捉える重粒子線がん治療向けの技術を開発。

http://www.toshiba.co.jp/about/press/2016_09/pr_j2601.htm?from=RSS_PRESS&uid=20160926-4550

○文部科学省 原子力科学技術委員会 原子力人材育成作業部会 「原子力人材育成作業部会 中間取りまとめ」を策定。

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gi_jyutu/gi_jyutu2/079/houkoku/1375812.htm

○文部科学省 英知を結集した原子力科学技術・人材育成推進事業 廃炉加速化研究プログラム 平成28年度新規採択課題を決定。

http://www.mext.go.jp/b_menu/boshu/detail/1377008.htm

4. これからのイベント

○福井大学附属国際原子力工学研究所 廃止措置等基盤研究・人材育成プログラム 廃止措置国際セミナー

「米国及び欧州における廃止措置・環境修復の経験・状況」(10月17日、大阪科学技術センター)

<http://www.rine.u-fukui.ac.jp/s/news/archives/14>

○放射線計測研究会 第62回研究会(10月15日、三菱総合研究所)

<https://sites.google.com/site/radmeas/>

○放射線安全フォーラム 第49回放射線防護研究会 「がん治療の研究開発の最先端」(10月22日、千代田テクノル本社ビル)

http://www.rsf.or.jp/events_research.html

○JAEA 「核セキュリティを支える技術開発に係る国際シンポジウム(10月27日、東京大学山上会館)

<http://www.jaea.go.jp/04/isdn/activity/2016-10-27/announce.html>

5. 公募情報、学生・ポスドク受入情報

○広島大学原爆放射線医科学研究所放射線影響評価研究部門 計量生物研究分野教授(医用画像情報科学分野)教授(応募締切:10月24日)

http://www.rbm.hiroshima-u.ac.jp/jp/news/koubo_news.html

○ITER国際核融合エネルギー機構 専門職員:5名、支援職員:1名(応募締切:10月29日~11月5日;フランス時間)

<http://www.iter.org/jobs>

